



私の“パチンコイノベーション10選”

6月中旬、公益社団法人発明協会という組織から、日本の産業および経済の発展に大きく貢献した「戦後日本のイノベーション100選」のうち、38点が発表されました。内訳は一般向けアンケートで選ばれた上位10点と、高度成長期までの発明などから選ばれた28点。

トップ10には「インスタントラーメン」「新幹線」「ウォークマン」「発光ダイオード」「ハイブリッド車」など、消費者の生活に密着しているものが多く、高度成長期までの28点には「魚群探知機」「鉄鋼一貫臨海製鉄所」「自脱型コンバインと田植機」「電界放出型電子顕微鏡」などといった、様々な産業を成長させて来た発明品などが多数挙げられているのが、大きな特徴です。私自身、これらの中ではやはり「インスタントラーメン」「ウォークマン」「家庭用ゲーム機・ゲームソフト」といったものに大きな影響を受けて来たと思いますし、おそらく大部分の方も同じような感覚でしょう。

なお、残りの62点については現時点では発表されていないため、他にも重大な項目があるのか追々楽しみにしておきたいところですが、気になるのは「パチンコ」が入っているかどうかです。

そこで、関連して今回は私なりの「パチンコイノベーション10選」を考えてみました。とはいえ、私のパチンコ歴はやっと30年程度のため、それ以前のものは「正村ゲージ」や「チューリップ」といった、誰でも知っている発明に限らせて頂きます。

以上、かなり絞って「主なもの」を挙げましたが、いかがでしょうか。いずれもその後のパチンコ機や業界を変える、

ターニングポイントとなった台や機器を選びました。

もちろん、台の裏機構や日常のホール営業においてなど、細かいイノベーションは数限りなく存在していたと思います。数年前に私の実家が建て替えをした際、父が今時の大工さんたちが見慣れない機器を使って上手に作業をしているのを見つけ、どういふものかを尋ねたところ、「こういう業界にもエジソンのような人がいて、日々新しい工夫をこらしたものを作ってくれているんですよ」という答えが返って来たと、えらく感心していたのを思い出しました。パチンコ業界においても、同じように日々新しい工夫を考えている方が大勢いるはずですよ。

そんなことを考えているうち、いっそのこと遊技業界でも「発明ランキング」のようなものを作ってみてはどうか、とひらめきました。歴代のものはもちろん、毎年のように優れた物を発表すれば、多くの関係者の励みになるでしょう。

そして、私たちメディアも勉強になりまして、啓蒙することによってイメージアップや優秀な人材確保など、いい影響があるかもしれません。そしてこのアイデアも、ちょっとしたイノベーションになってくれればいいな、と思っています(笑)。

神保的 パチンコイノベーション10選

- 1 正村ゲージ (近代パチンコの誕生)
- 2 チューリップ (役物としてはジンミットも)
- 3 フィーバー (デジパチの元祖)
- 4 ゼロタイガー (羽根物の元祖)
- 5 台間玉貸し機
- 6 分離式盤面
- 7 麻雀物語 (液晶画面搭載一号)
- 8 オロチョンパ (タイアップ元祖)
- 9 ギンギラパラダイス (の表示)
- 10 独立島



デジパチの元祖「フィーバー」(SANKYO・1980年)

じんぼう・みか

法政大学卒業後、文具メーカー勤務を経て業界誌記者となり、1993年独立。取材記事、コラムなど連載。近著「パチンコ年代記」(バジリコ、07年)